

令和5年度第2回大東小学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和5年度第2回大東小学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和5年11月22日（水） 午後2時から午後3時30分まで
- 3 開催場所 大東小学校 多目的ホール
- 4 出席者
 - (1) 委員 小原雪男委員（会長）、佐藤律子委員（副会長）、
佐藤弘幸大東小学校校長（副会長）、及川たい子委員、佐藤徳幸委員、
足利徳夫委員、佐藤麻利江委員
 - (2) 事務局 下村知信大東小学校副校長、樋口達哉大東小学校教務主任

5 議 題

- (1) 学校評価（1学期分）について
- (2) 2学期までの学校運営について
- (3) 学校支援地域本部事業について
- (4) 学校運営支援協議会委員の報酬について
- (5) 第3回学校運営支援協議会の日程について

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴人 0人

8 小原雪男会長挨拶

これまで様々な行事が実施されてきた。学習発表会の子どもの姿を見ると頑張っている。これからも子ども達の成長をみていきたい。

9 佐藤弘幸大東小学校校長挨拶

アフターコロナの中で、手探りをしながらの活動をしてきた。4年ぶりの開催という行事もあり、以前と同じようにやるのがどうなのか、新しい形態を検討しながら工夫して取り組んできた。インフルエンザウイルスが、流行しつつあるのが気になるところである。

10 審議内容

(1) 学校評価について

資料に基づき校長から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 保護者アンケートで「お子さんは、いじめがない学校生活を送っていますか」の評価が94%であるが、いじめはあるのか。

校長 本校でもいじめの認知件数はある。しかし、子ども達は未発達であり、発達段階によってトラブルはある。ご家庭の方と価値観や意識を共有しながら育て

ていきたい。

(2) 2学期までの学校運営について

資料に基づき校長から説明を行った。質疑等なし。

(3) 学校支援地域本部事業について

資料に基づき校長から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 以前、地域の方々が参加していた図書館ボランティアによる活動が行われていたと思うが、コロナ禍によりその活動はなくなったのか。

校長 保護者3名により継続している。これからは地域の方々にも呼びかける。

委員 セーフティネットの仕組みについては、参加者数が少なくなっていることから、学校運営支援協議会主体で進める案でよいと思う。

委員 セーフティネットは、どのような成り立ちだったのか。

校長 大東小学校の学校統合の際に、見守り活動に参加する方を募り、子ども会役員と児童が、その方に直接お願いをするという形で進めてきた。以後、3年ごとに子ども会が自治会長を通じて参加を募るという形で進めている。

委員 子どもがいない自治会もあるが、どのようにするのか。

校長 子どもがいなくても、地域として見守っていただくという形態の方が持続可能だと思う。道路に立って、登下校の子どもの様子を見守るという形だけではなく、畑仕事をしながら子どもの様子を見守っていただくといった現在のセーフティネットの活動方法については継続したい。

委員 あくまで見守る活動ということで、自治会に直接参加を募っていく方法はよいと思う。

校長 セーフティネットの具体的な内容については、第3回の協議会で再度提案したい。

(4) 学校運営支援協議会委員の報酬について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑等なし。

(5) 第3回学校運営支援協議会の日程について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑等なし。

11 担 当 一関市立大東小学校